

第1学年 図画工作科学習指導案

1 単元名 ごちそうパーティーはじめよう！

2 研究主題との関わり

・生活科「たのしいあきいっぱい」の学習との関連を図り、見つけた秋の実などを工夫して使い造形活動をする。 (教科等横断)

・パーティーから、誕生日やクリスマスなどの年中行事を想起させ、生活の場面につなげる。(生活の場面)

3 本時(1/2時)

(1) 目標 いろいろな食べ物の形を思い浮かべて油粘土で表す活動に取り組み、つくり出す喜びを味わい、楽しむ。 【学びに向かう力、人間性等】

(2) 展開

学習活動	学習内容	○指導上の留意点 ◎評価 ☆教科等横断 ★生活の場面
<p>1 自分の好きな食べ物を想起し、「ごちそう」のイメージを広げる。</p> <p>2 本時の学習課題をつかみ、学習の見通しをもつ。</p>	<p>パーティーってどんなにするかな？</p>	<p>○好きな食べ物や「ごちそう」だと思える食べ物などを問いかけ、「ごちそう」のイメージを広げるようにする。</p> <p>★「パーティー」の言葉から、誕生日やクリスマスなどの年中行事を想起させる。</p> <p>○本単元の最後にパーティーすることを伝え、見通しをもたせるとともに、意欲を引き出す。</p>
<p>コックさんになって「ごちそう」をつくろう</p>		
<p>3 教師の実演を見ながら、粘土の技法を知る。</p> <p>4 「粘土体操」をする。</p>	<p>○粘土の技法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねじる ・丸める ・薄く伸ばす ・ひも状に伸ばす ・つまむ ・握る 	<p>○「お料理教室」と題し、教師が実際に粘土をいろいろな技法をつかって食べ物に変えていく様子を見る。(書画カメラ)</p> <p>○粘土ベラの使い方にも触れるようにする。</p> <p>○コックさんになりきって「ごちそう」をつくるようにし、意欲を高める。</p> <p>○粘土の扱いに楽しみながら慣れるように「粘土体操」で丸めたり、伸ばしたり、ねじったりなど、手と指を使っていろいろな形に変えてみるようにする。</p>
<p>5 思い付いた「ごちそう」の形や大きさを考えながら、工夫して表す。</p>	<p>モンブランの仕上げにドングリをのせると…粘土だけより「ごちそう」になるね。</p>	<p>☆生活科「たのしいあきいっぱい」で見つけた秋の実などをつかって、工夫して表現してもよいことを伝える。</p> <p>○粘土の技法について掲示物で示し、児童がそのあとの活動で参考にできるようにする。</p> <p>○自分の思い付いた「ごちそう」をつくる児童を見守り、声をかけて回る。</p>
<p>6 本時のまとめをし、次時への学習の見通しをもつ。</p>		<p>◎いろいろな食べ物の形を思い浮かべて油粘土で表す活動に取り組み、つくり出す喜びを味わい、楽しもうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>

(2) 板書

コックさんになって「ごちそう」をつくろう

すきな食べ物

- チョコレート
- ショートケーキ
- クッキー
- アイスクリーム

ごちそう

かつどうのながれ

ねじる

まるめる

うすくのばす

ひもにする

つまむ

にぎる